



七校便り

宮城県白石高等学校七ヶ宿校

No. 125

令和2年2月29日

2月1日(土)

県庁にてみやぎ高校生フォーラム

志教育の一環で、高校生が県庁ロビーに集い、各学校の特色とその活動について説明しました。その後講堂では全体会が行われ、高校生に出来ることについて意見交換を行われました。七校からは2年生の菅原嘉穂さん、小島陽君、岡村龍乃輔君の3人が参加し総合の授業について堂々と発表説明していました。



2月7日(金)14日(金)

白石スキー場にてスキー教室

近年例を見ない暖冬で、七ヶ宿スキー場は2月に入りシーズンを終了しました。七校にはスキー授業が必要不可欠で、会場を白石スキー場に変更して実施しました。7日は雪質・天気とも最高の中で楽しむことができました。14日は雪がだいぶ溶けて水たまりがあちらこちらに見られる中でのフリー滑走の審査。思い思いにシュプールを描きゴールできました。来年は七ヶ宿スキー場でスキー授業が出来ることを願っています。



今年度も卒業生進路達成 100%

夢に向かって羽ばたけ! 七校生!!

2月17日(月) 予餞会

今年度も卒業生を送る予餞会が活性化センターにて行われました。会に先立ち、皆勤賞の3年丸山智久君と半澤祐哉君2名の表彰と校内読書感想文の表彰を行いました。予餞会は、1・2年生より踊りやクイズなどの出し物で楽しみ、卒業生からは半澤由多加君のギターで、尾崎豊の「卒業」をみんなで歌い答えました。在校生、卒業生にとっていい思い出が出来ました。卒業生は、しっかりと社会人になるための準備をして卒業式に臨んでほしいと思います。おめでとう!



令和元年度学校評価について【後編】

先月に続き、地域の方々や職員の評価について報告いたします。

【地域の方々の評価より】

全体的に高い評価をいただいておりますが、ボランティア活動の取り組み・生徒の挨拶・高校生らしい言動などで6割程度の評価をいただきました。なかなか表面に気持ちを出せない生徒が多い中、様々な行事を通じて自己肯定感・達成感を積み重ね、表現豊かな生徒を育てられるよう取り組みたいと考えます。

【職員の評価より】

職員の評価では、校内の仕事の部分での連携、授業の評価等、生徒・保護者と連携と進路相談の充実について低い評価となりました。少ない職員で様々な校務をこなさなければならぬ状況だからこそ連携が必要と考えます。授業評価では、対話的な授業展開を進める難しさが浮き彫りとなりました。進路相談では、今後キャリアデザインなどの授業を通じ、さらに充実出来るよう改善を考えております。

学校評価の最後に、七ヶ宿まで3年間不登校経験等を持つ生徒が通い続けた時間こそ、最大の努力の結果で、自己肯定感・達成感を感じて卒業して行きます。「何も無い七校だからこそ、自分自身に真摯に向き合い、仲間と出会い、自分に何が出来るか、何が出来たか」を問いかけ、我々は生徒を社会に送り出せるよう職員一丸となり努力したいと考えます。

3月の行事予定

(新型コロナウイルスにより3月2日より休校)

- 1日(日) 卒業式(白石高校)
- 4日(水) 高校入試学力検査
- 16日(月) 合格発表
- 23日(月) 二次募集学力検査
- 24日(火) 二次合格発表
- 25日(水) 修業式
- 26日(木) 新入生予備登校(七ヶ宿校)
- 30日(月) 離任式(15:00 白石高校)

副校長より

誰もが経験したことのない記録的な暖冬に加え、今度は新型コロナウイルスの発生と、その拡大防止のため安倍総理から全国のスポーツ大会イベント・文化的行事等の自粛さらに、3月2日より全国の公立小中高等学校へ対し、休校要請が出され、日本中が重大な危機を感じています。このような状況の中で、3月4日は高校の学力検査が行われ、中学生にとって新年度に向けて最後の仕上げが始まります。七ヶ宿校卒業生にとっても社会に出るための免許取得や準備に追われる大切なときです。在校生は、学年末の試験が終わり、学年の成績が決まる大切な時期でもあり、誰にとっても重要な時期です。様々なことに振り回されず、しっかり情報を整理し先のために準備と健康に過ごす努力をお願いいたします。